

第96回 箱根駅伝 2020年1月2日(木)、3日(金) AM8:00 START

風雲急を告げる戦国駅伝 チーム坪井とオール法政で応援、上位へ押し上げよう！



選手たちがピースサインを撮っている様子。



監督・坪井智夫監督

監督・坪井智夫監督のインタビュー。昨年から「陸上脳」をテーマに掲げている。

「多くの方々に支えられ、我々が箱根駅伝に出場できています。皆さんに結果を返して、皆さんの期待を越えられる結果を出していきたいです。」

「4年生は初めて予選会がなく、夏にたるみがちな時期があり、一度、全体ミーティングをした。下級生からも意見をもらって工夫して、最後は全員で締められました。」

「今年から理系が好き。大層も理系で進路を考えていた。小金井キャンパスは寮から1時間半かかり、1限の日は朝練も早めに始め、学部の課題も多い。つらい援も濃い。キツイけど、一回回は2年連続6位。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」



4年/経済学部

「箱根は2年連続6位、今年も4位が目標。5位を掲げての6位。選手は本当に悔しがっています。今年も青木、佐藤、坪井が三本柱。エース3人に任せきりでチーム総崩れもある。4年生がいかにキツくなるか。」

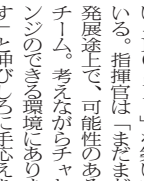
「区間賞は絶対取りたい。他区間でも3位以内を取って役員を果たせたら、その達成感で来年も4位を目指して頑張りたい。」

「自由さが良かった。僕は学部の都合で自由ハズニューを立て、自分のペースで練習できた。監督も考えて練習する人にはサポートを与えてくれます。」

「陸上生で『絶対勝つ』みたいな気持ちはなかった。昨年は今まで感じたことがないくらい悔しくて自分にも強い気持ちがあった。最終学年でもあり、今年も燃やしています。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」



4年/生命科学部

「区間賞は絶対取りたい。他区間でも3位以内を取って役員を果たせたら、その達成感で来年も4位を目指して頑張りたい。」

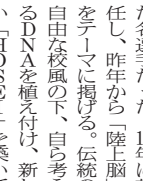
「自由さが良かった。僕は学部の都合で自由ハズニューを立て、自分のペースで練習できた。監督も考えて練習する人にはサポートを与えてくれます。」

「陸上生で『絶対勝つ』みたいな気持ちはなかった。昨年は今まで感じたことがないくらい悔しくて自分にも強い気持ちがあった。最終学年でもあり、今年も燃やしています。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」



4年/社会学部

「区間賞は絶対取りたい。他区間でも3位以内を取って役員を果たせたら、その達成感で来年も4位を目指して頑張りたい。」

「自由さが良かった。僕は学部の都合で自由ハズニューを立て、自分のペースで練習できた。監督も考えて練習する人にはサポートを与えてくれます。」

「陸上生で『絶対勝つ』みたいな気持ちはなかった。昨年は今まで感じたことがないくらい悔しくて自分にも強い気持ちがあった。最終学年でもあり、今年も燃やしています。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」

【戦評】 令和初の箱根は、戦国規模の様を呈している。10月の学生3大駅伝初戦、出雲駅伝で国学院大が、青木大、東洋大らを抑えて優勝。11月の全日本駅伝は強豪・東海大が制したが、上述の各校に、駒大、帝京大を加えた「7強」の角に、

法大も争っている。そんな本命なき決戦において、頼もしい存在となるのは山上の5区のスベシヤリス・ト・青木(4年)だろう。前々回で区間賞を獲得した「法政の山の神」は、近年「山を制する者が箱根を制す」の格言もある通り、5区の出来が成績に直結する。青木が奮起すれば、往

「4位を狙うなら、往根に間に合わなければ、下級生を含め、総力戦で勝利を争う必要がある。今年も青木、佐藤、坪井が三本柱。エース3人に任せきりでチーム総崩れもある。4年生がいかにキツくなるか。」

「区間賞は絶対取りたい。他区間でも3位以内を取って役員を果たせたら、その達成感で来年も4位を目指して頑張りたい。」

「自由さが良かった。僕は学部の都合で自由ハズニューを立て、自分のペースで練習できた。監督も考えて練習する人にはサポートを与えてくれます。」

「陸上生で『絶対勝つ』みたいな気持ちはなかった。昨年は今まで感じたことがないくらい悔しくて自分にも強い気持ちがあった。最終学年でもあり、今年も燃やしています。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」



第96回東宗箱根往復大駅伝競走(箱根駅伝)が1月2、3日行われる。3年連続入賞している法大は80度目の出場。今大会の見所を特集するとともに、坪井智夫監督、坪井慧選手ら3選手がインタビューに応じ、意気込みを語った。

【取材/スポーツ法政新聞会 戦評/神原英彰 (後)Creative? THE ANSWE R編集部・取材/新聞記者 07年度法政学部卒 構成/高見佳志】 取材日・2019年10月

「昨年から『陸上脳』をテーマに掲げている。『学生スポーツなので自分から、競技を行うことが社会に出て生きていけることをやって結果を出すのではなく、自分なりに工夫して競技をやってもいい。3年連続入賞も達成したい。』

「区間賞は絶対取りたい。他区間でも3位以内を取って役員を果たせたら、その達成感で来年も4位を目指して頑張りたい。」

「自由さが良かった。僕は学部の都合で自由ハズニューを立て、自分のペースで練習できた。監督も考えて練習する人にはサポートを与えてくれます。」

「陸上生で『絶対勝つ』みたいな気持ちはなかった。昨年は今まで感じたことがないくらい悔しくて自分にも強い気持ちがあった。最終学年でもあり、今年も燃やしています。」

「法政はブランドも良く、自主性が一番重要となる大層。チームの鍵を握るエース」と思い、そういう環境が高校時代から合っていたので選びました。私自身は高々と覚悟を持って走り回りたい。チームの流れを変えたい。良い流れを加速させたいです。」

「チームのレベルは上がった。4年間、成長させてもらった恩返しを最後にしたいです。」

HSC OSEI SPORTS COMMUNITY 沿道をオレンジに 我々HSCは、日本一の応援を目指します 第96回箱根駅伝 2020年1月2日、3日 AM 8:00 Start

Table with columns: 区 (District), 往路 (Outbound Route), 復路 (Return Route), 時間 (Time). Lists various stations and their corresponding times for the relay race.

QR code and contact information for Hosei University. (株)エイチ・ユーの通販サイトでは、オリジナルのほり旗を取り扱っております。TEL.03-3264-5086